

2014年3月期 第3四半期決算

# 説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2014年1月31日



# CONTENTS

- 1 2014年3月期 第3四半期決算
- 2 2014年3月期 業績予想修正
- 3 トピックス
- 4 補足資料

# 1 2014年3月期 第3四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 全社支出削減の進捗
4. 営業利益増減分析



① 2014年3月期 第3四半期決算

# 1. 決算概要

## 連 結 (前年同期比)

(億円未満切捨て)  
(億円)

	2013年 3月期 第3四半期 累計	2014年 3月期 第3四半期 累計	増 減	
			金額	%
売上高	1,890	2,079	+188	+10
営業利益	27	125	+97	+354
経常損益	△1	98	+99	-
四半期純損益	△108	74	+183	-
1株当たり四半期純損益(円)	△31.16	21.53		
為替(円/\$)	80	99		
国産ナフサ価格 (円/kg)	55,400	65,700		

### 定性情報(前年同期比)

(売上高) 2,079億円(10%増)

増収要因 : セメント及び関連製品の販売数量増、石油化学製品等の価格是正、プラントトラブル解消による塩ビモノマーの販売数量増

減収要因 : 多結晶シリコンの販売数量減

(営業利益) 125億円(354%増)

増益要因 : 全社を挙げての費用削減

減益要因 : 国産ナフサ価格の上昇

① 2014年3月期 第3四半期決算

# 1. 決算概要

連 結 (前年同期比)

(億円)

	2013年 3月期 第3四半期 累計	2014年 3月期 第3四半期 累計	増 減	
			金額	%
売上高	1,890	2,079	+188	+10
営業利益	27	125	+97	+354
経常損益	△1	98	+99	-
四半期純損益	△108	74	+183	-
1株当たり四半期純損益(円)	△31.16	21.53		
為替(円/\$)	80	99		
国産ナフサ価格 (円/kg)	55,400	65,700		

## 定性情報(前年同期比)

(経常利益) 98億円(黒字転換)

増益要因 : 為替差損から為替差益へ転換

減益要因 : 支払利息及び休止部門費の増加

(四半期純利益) 74億円(黒字転換)

増益要因 : 前年同期に計上した株式会社エクセルシャノンの事業再構築引当金の繰入が当期は発生しなかったことによる特別損益の改善、前年同期に発生した繰延税金資産の取崩しが当期は発生しなかったことによる税金費用の減少

# 1. 決算概要

連 結 ( 前 期 末 比 )

(億円)

	2013年 3月末	2013年 12月末	増 減
総資産	5,182	5,323	+140
自己資本	2,175	2,262	+87
自己資本比率	42.0%	42.5%	+0.5ポイント
有利子負債	1,877	2,041	+164
D/Eレシオ	0.86	0.90	+0.04
1株当たり純資産(円)	625.29	650.39	

## 定性情報(前期末比)

(総資産)

増加項目: マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設による有形固定資産の増加

減少項目: 上記建設資金への充当による預金、有価証券の減少

(自己資本)

増加項目: 利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加

(有利子負債)

増加項目: マレーシアでの建設資金用に締結したコミットメントライン契約に基づく短期借入金の増加

① 2014年3月期 第3四半期決算

## 2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

(億円)

	2013年3月期 第3四半期 累計		2014年3月期 第3四半期 累計		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	575	3	640	13	+64	+11	+10	+290
特殊品	365	△12	352	23	△13	△4	+35	-
セメント	529	39	581	47	+52	+10	+7	+20
ライフアメニティー	367	17	405	30	+38	+10	+13	+75
その他	297	18	357	34	+59	+20	+15	+84
計	2,136	67	2,337	150	+201	+9	+82	+123
セグメント間消去・ 全社費用	△246	△39	△258	△24	△12	-	+14	-
連結決算	1,890	27	2,079	125	+188	+10	+97	+354

(注1) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(注2) 2014年3月期より、機能部材セグメントは、ライフアメニティーセグメントに名称変更している

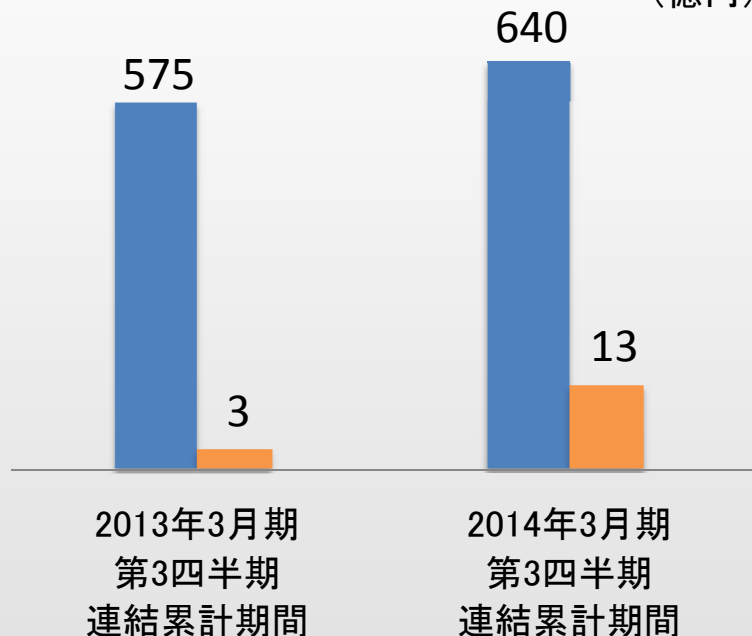
(注3) 2014年3月期第1四半期より、各セグメントへの費用負担の方法を変更している。なお、2013年3月期第3四半期連結累計期間においても、変更後の数値としている

## 2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）

### 化成品

### 増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益  
(億円)



### 定性情報

#### （塩ビモノマー）

- ・前年同期に発生した塩ビモノマープラントのトラブル解消による販売数量の回復
- ・円安による輸出価格の上昇

#### （苛性ソーダ）

- ・上記塩ビモノマープラントトラブル解消に伴う電解プラントの稼働率改善による国内販売数量の回復

#### （塩ビ樹脂）

- ・販売価格の是正
- ・国産ナフサ価格上昇に伴う原料コストの増加

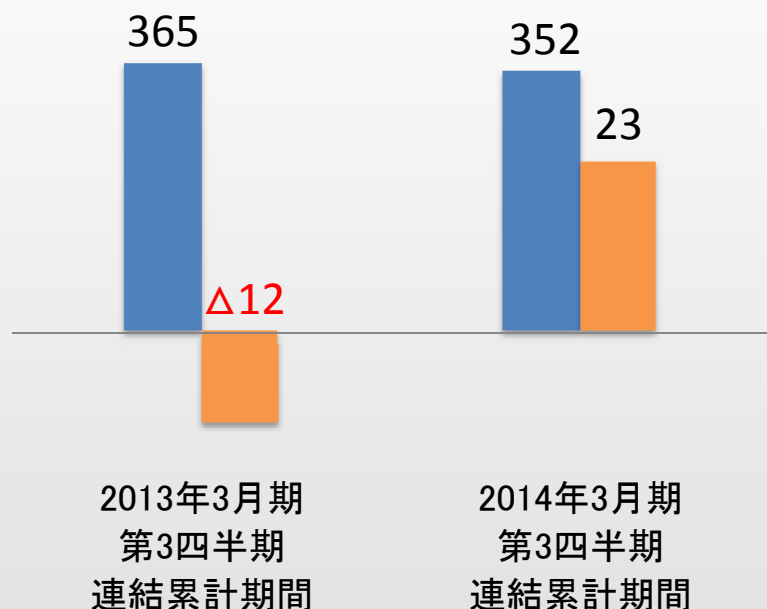


## 2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

### 特殊品

### 減収増益

■ 売上高 ■ 営業利益  
(億円)



### 定性情報

#### (多結晶シリコン)

- ・半導体向けは、サプライチェーンにおける在庫調整等により販売数量減
- ・太陽電池向けは、供給過剰による市況低迷が続く中、利益重視の販売戦略により販売数量減
- ・販売構成差及び円安による平均販売価格の改善

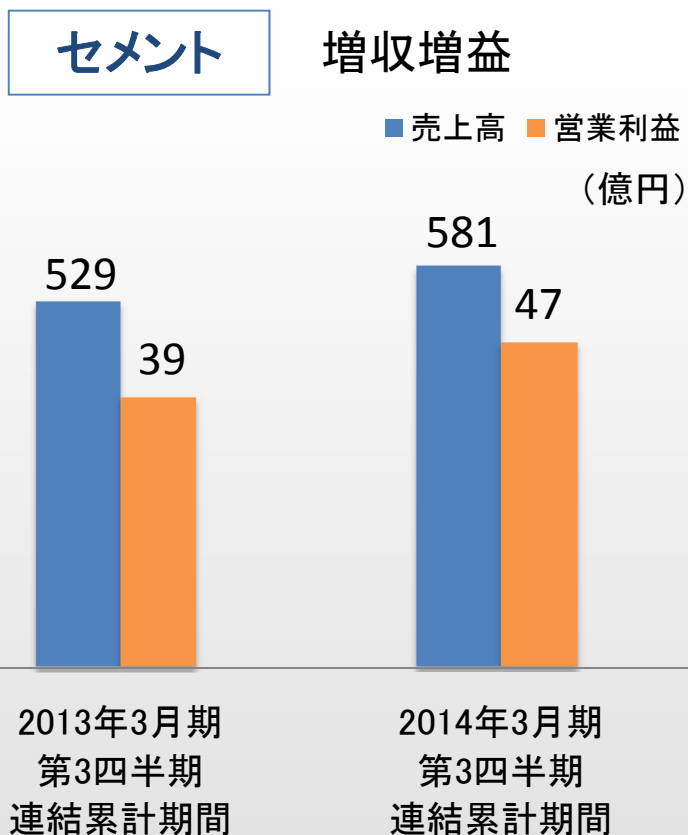
#### (乾式シリカ、電子工業用高純度薬品)

- ・販売価格の是正
- ・円安による輸出価格の上昇

#### (窒化アルミニウム)

- ・半導体市場の回復に伴う販売数量増

## 2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）



### 定性情報

#### (セメント)

- ・国内需要の回復に伴う、販売数量の増加
- ・Tokuyama Nouvelle Calédonie S.A.を子会社化したことによる増収

#### (資源環境事業)

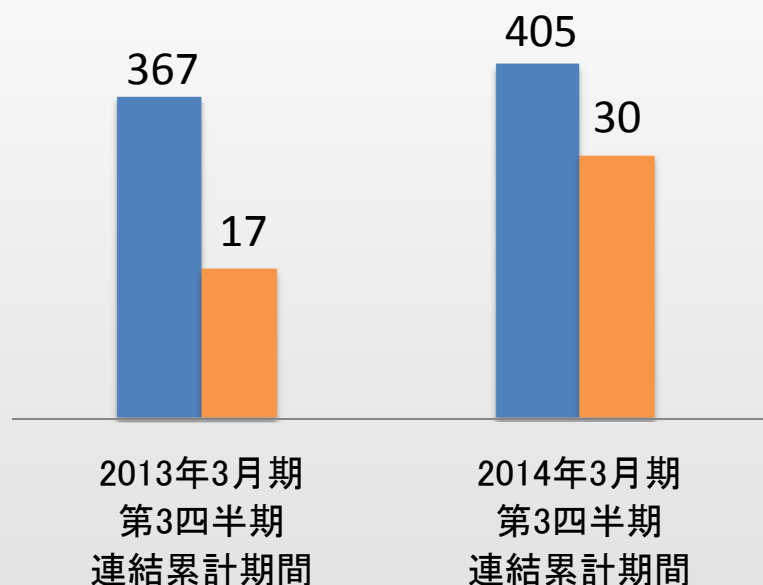
- ・セメント生産量増加に伴う廃棄物受入量の増加

## 2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

### ライフアメニティー

### 増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益  
(億円)



### 定性情報

(プラスチックレンズ関連材料)

- ・2011年に発生したタイ洪水によるサプライチェーンへのダメージ解消により販売数量増

(ポリオレフィンフィルム)

- ・製品拡販による販売数量増
- ・販売価格の是正

(歯科器材)

- ・海外向け製品拡販による販売数量増
- ・円安による輸出価格の上昇

(樹脂サッシ)

- ・住宅着工件数回復に伴う販売数量増
- ・事業再構築による損益改善

# 3. 全社支出削減の進捗

## 12～13年度の全社支出削減額(億円)

経費 : 3億円  
 購買費 : 17億円  
 物流費 : 5億円  
 修繕費 : 5億円  
 人件費 : 20億円

50



13年度支出削減目標額  
 (2013. 2. 28計画発表時点、  
 12年度予想比)

経費 : 10億円  
 購買費 : 21億円  
 物流費 : 4億円  
 修繕費 : 12億円  
 人件費 : 17億円

40  
 (予算織込)



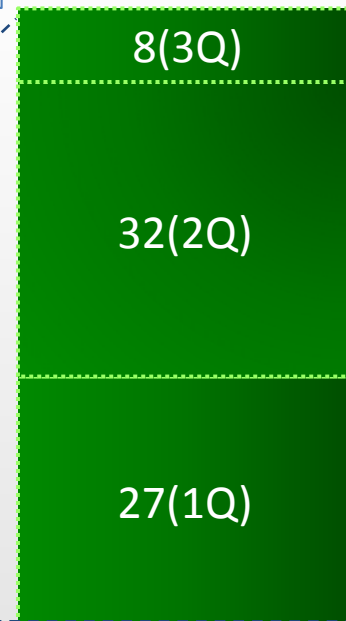
13年度支出削減予算織込額・  
 12年度前倒し支出削減額

67

8(3Q)

32(2Q)

27(1Q)



13年度3Q累計  
 支出削減実績

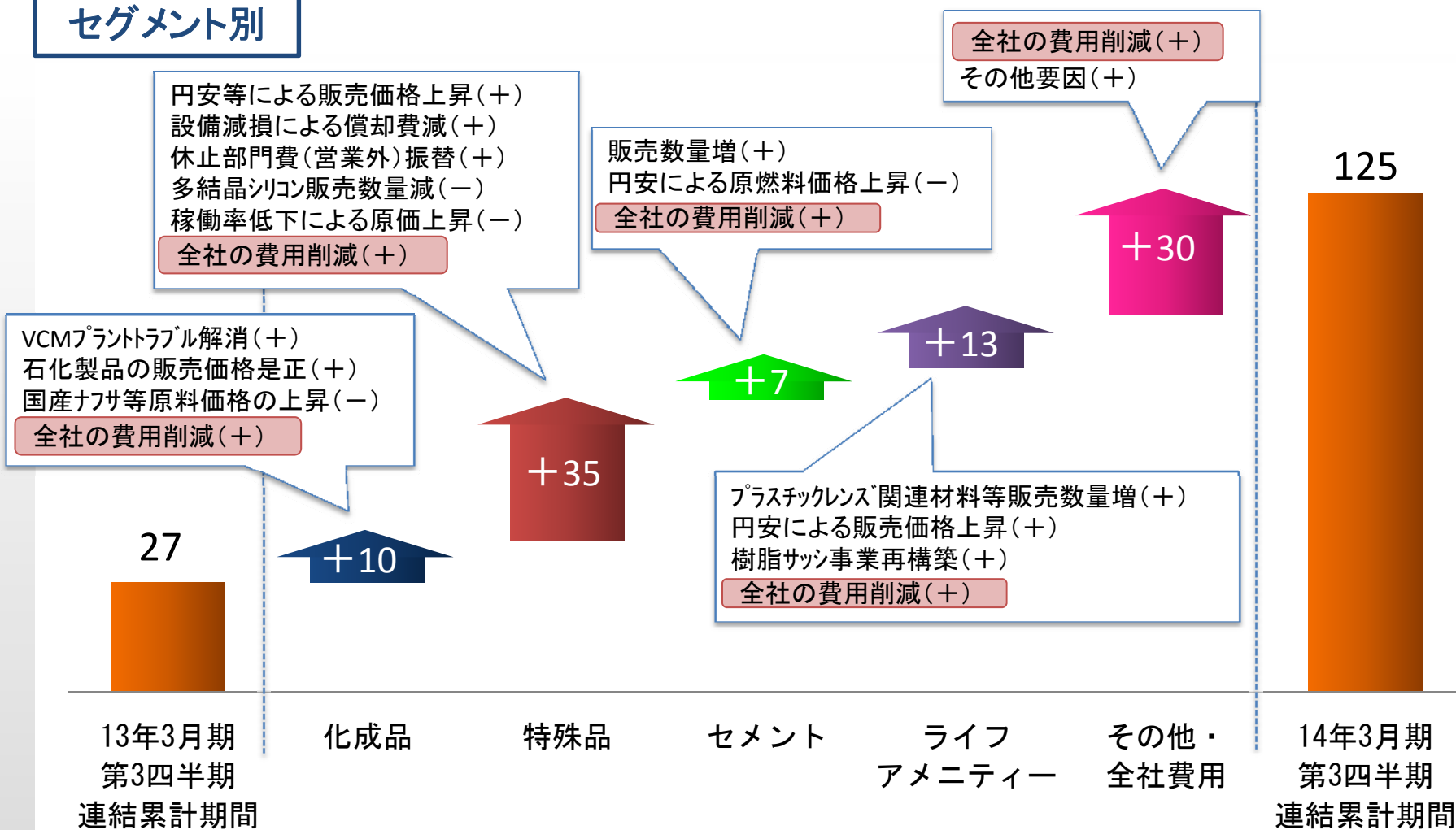
(注1) 購買費、物流費は数量、為替による増減を除く

(注2) 13年度支出削減額は削減対象となっている支出の前年同期比減少額

# 4. 営業利益増減分析

(前年同期比) (億円)

## セグメント別

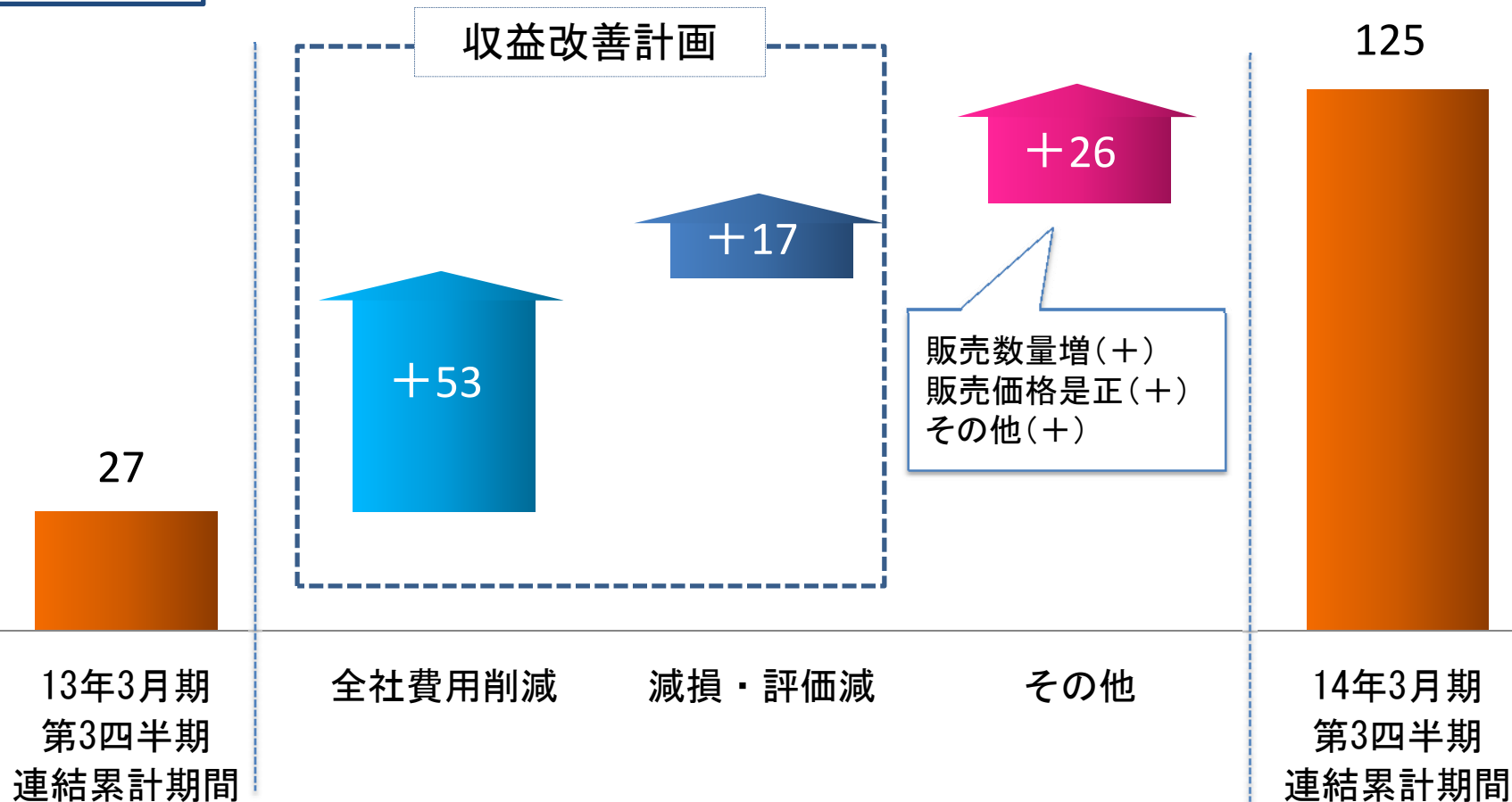


# 4. 営業利益増減分析

(前年同期比)

(億円)

要因別



(注1) 全社費用削減及び減損・評価減の金額は、在庫影響等を除いた営業利益への影響額

## 2 2014年3月期 業績予想修正

1. 業績予想修正
2. セグメント別業績予想修正



② 2014年3月期 業績予想修正

# 1. 業績予想修正

連結（期初予想比）

（億円）

	2014年3月期 予想(4/30公表)	2014年 3月期 予想(1/31修正)	増減	
			金額	%
売上高	2,755	2,860	+105	+4
営業利益	140	180	+40	+29
経常利益	100	140	+40	+40
当期純利益	75	100	+25	+33
1株当たり純利益(円)	21.56	28.74		
為替(円/\$)	95	100		
国産ナフサ価格(円/kl)	60,500	66,800		

## 修正の理由

### （売上高）

増収要因： 円安による輸出価格の上昇、価格是正

### （経常利益）

増益要因： 為替差益の計上

### （営業利益）

増益要因： 全社を挙げての費用削減

減益要因： 国産ナフサ価格等原燃料価格の上昇

### （当期純利益）

減益要因： 税金費用の増加



② 2014年3月期 業績予想修正

# 1. 業績予想修正 連結（前期比）

（億円）

	2013年 3月期 実績	2014年3月期 第3四半期累計 実績	2014年 3月期 予想(1/31修正)	増 減	
				金額	%
売上高	2,586	2,079	2,860	+273	+11
営業利益	67	125	180	+112	+166
経常利益	32	98	140	+107	+333
当期純損益	△379	74	100	+479	-
1株当たり純損益(円)	△108.98	21.53	28.74		
為替(円/\$)	83	99	100		
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	57,500	65,700	66,800		

② 2014年3月期 業績予想修正

## 2. セグメント別業績予想修正

( 期 初 予 想 比 )

(億円)

	2014年3月期 予想(4/30公表)		2014年3月期 予想(1/31修正)		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品	830	35	870	20	+40	△15
特殊品	495	25	525	45	+30	+20
セメント	725	45	765	60	+40	+15
ライフアメニティー	585	45	570	50	△15	+5
その他	475	35	470	40	△5	+5
計	3,110	185	3,200	215	+90	+30
セグメント間 消去・全社費用	△355	△45	△340	△35	+15	+10
連結決算	2,755	140	2,860	180	+105	+40

(注1)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(注2) 2014年3月期より、機能部材セグメントは、ライフアメニティーセグメントに名称変更している

② 2014年3月期 業績予想修正

## 2. セグメント別業績予想修正 (前期比)

(億円)

	2013年3月期 通期実績		2014年3月期				増減	
			第3四半期 連結累計期間 実績		通期予想 (1/31修正)			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品	773	4	640	13	870	20	+96	+15
特殊品	528	3	352	23	525	45	△3	+41
セメント	699	53	581	47	765	60	+65	+6
ライフアメニティー	510	29	405	30	570	50	+59	+20
その他	401	26	357	34	470	40	+68	+13
計	2,913	116	2,337	150	3,200	215	+286	+98
セグメント間 消去・全社費用	△326	△49	△258	△24	△340	△35	△13	+14
連結決算	2,586	67	2,079	125	2,860	180	+273	+112

(注1) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(注2) 2014年3月期より、機能部材セグメントは、ライフアメニティーセグメントに名称変更している

(注3) 2014年3月期より、各セグメントへの費用負担の方法を変更している。なお、2013年3月期においても、変更後の数値としている

### 3 トピックス

1. マレーシア計画
2. 徳山化工の設備増強



# 1. マレーシア計画

## トクヤママレーシアPS-1(第1期)

・2013年11月より生産開始し、半導体向けグレードの認定取得に向けて生産条件を確認中。



# 1. マレーシア計画

## トクヤママレーシアPS-2(第2期)

- ・工事は予定通り進捗し、2013年末に完成。
- ・2014年中頃に太陽電池向けグレード生産・販売開始予定。





### 3 トピックス

## 2. 徳山化工の設備増強

- 中国を中心にアジア市場において伸長著しい乾式シリカ表面処理グレードの事業拡大を図るため、徳山製造所の年産2,000トンの一部を徳山化工(浙江)に移設することを決定。
- 乾式シリカ表面処理グレードは、塗料、接着剤、インク等の用途で粘度調整剤、沈降防止剤、流動化剤として広く使用されており、今後の需要拡大が期待される。

#### 【計画の概要】

生産品目:	乾式シリカ表面処理グレード
設備投資額:	840万US\$(約9億円)
着工予定:	2014年5月
運転開始予定:	2015年6月



徳山化工(浙江)有限公司

## 4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 業績推移



4 補足資料

# 1. 連結財務諸表(要約)

## 損益計算書

(億円)

	2013年 3月期 第3四半期 連結累計期間	2014年 3月期 第3四半期 連結累計期間	増減	
			金額	%
売上高	1,890	2,079	+188	+10
売上原価	1,410	1,512	+101	+7
販管費	452	441	△10	△2
営業利益	27	125	+97	+354
営業外損益	△28	△26	+1	-
経常損益	△1	98	+99	-
特別損益	△15	△4	+11	-
税前当期純損益	△16	93	+110	-
法人税等	91	18	△72	△79
四半期純損益	△108	74	+183	-

4 補足資料

# 1. 連結財務諸表(要約)

## 貸借対照表

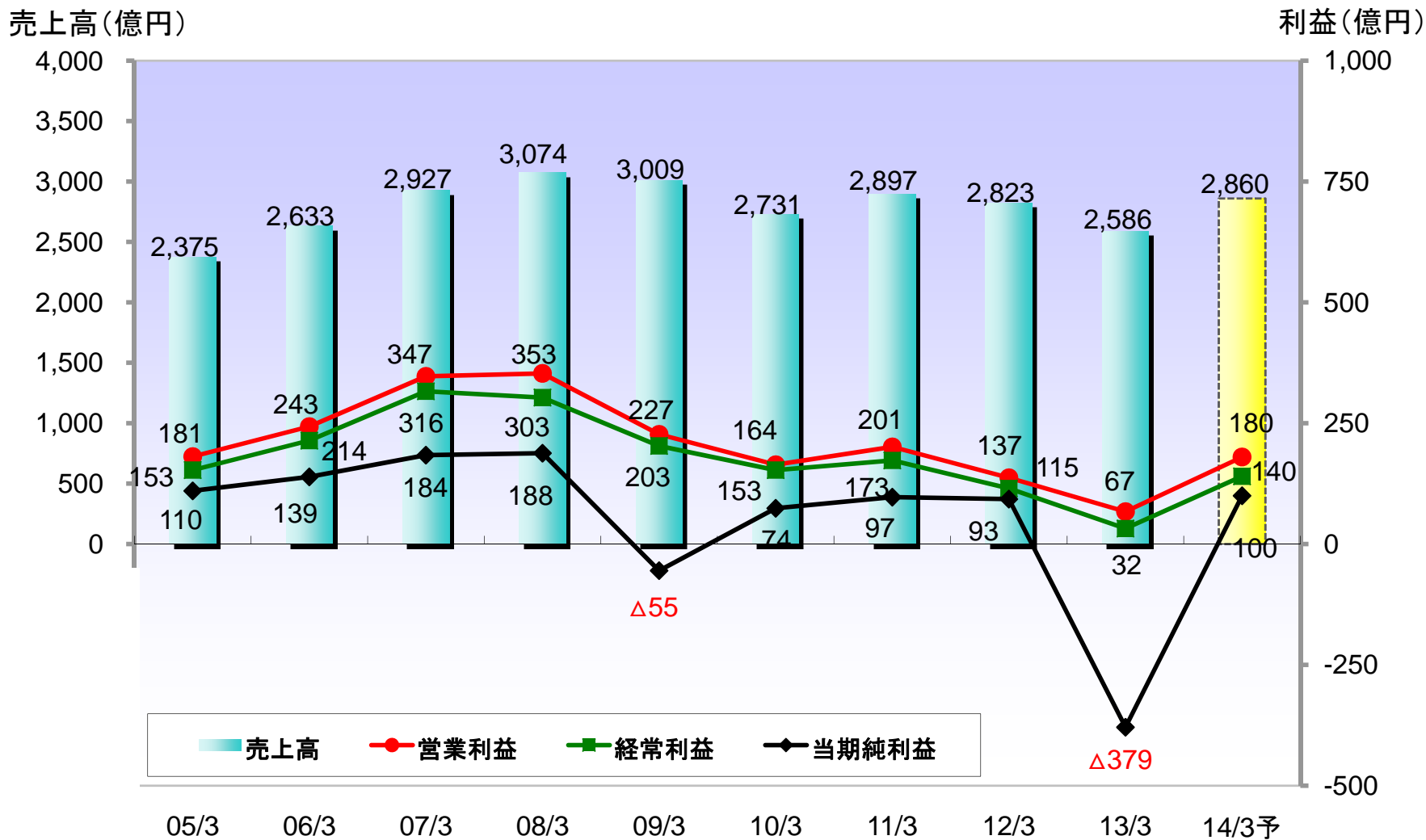
(億円)

	2013年 3月末	2013年 12月末	増減	
			金額	%
資産合計	5,182	5,323	+140	+3
流動資産	1,861	1,577	△283	△15
有形固定資産	2,743	3,111	+367	+13
無形固定資産	79	102	+23	+29
投資その他の資産	498	531	+33	+7

	2013年 3月末	2013年 12月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,943	2,996	+52	+2
流動負債	1,156	1,152	△3	△0
固定負債	1,787	1,843	+55	+3
純資産合計	2,238	2,326	+88	+4

4 補足資料

# 2. 業績推移 (通期)

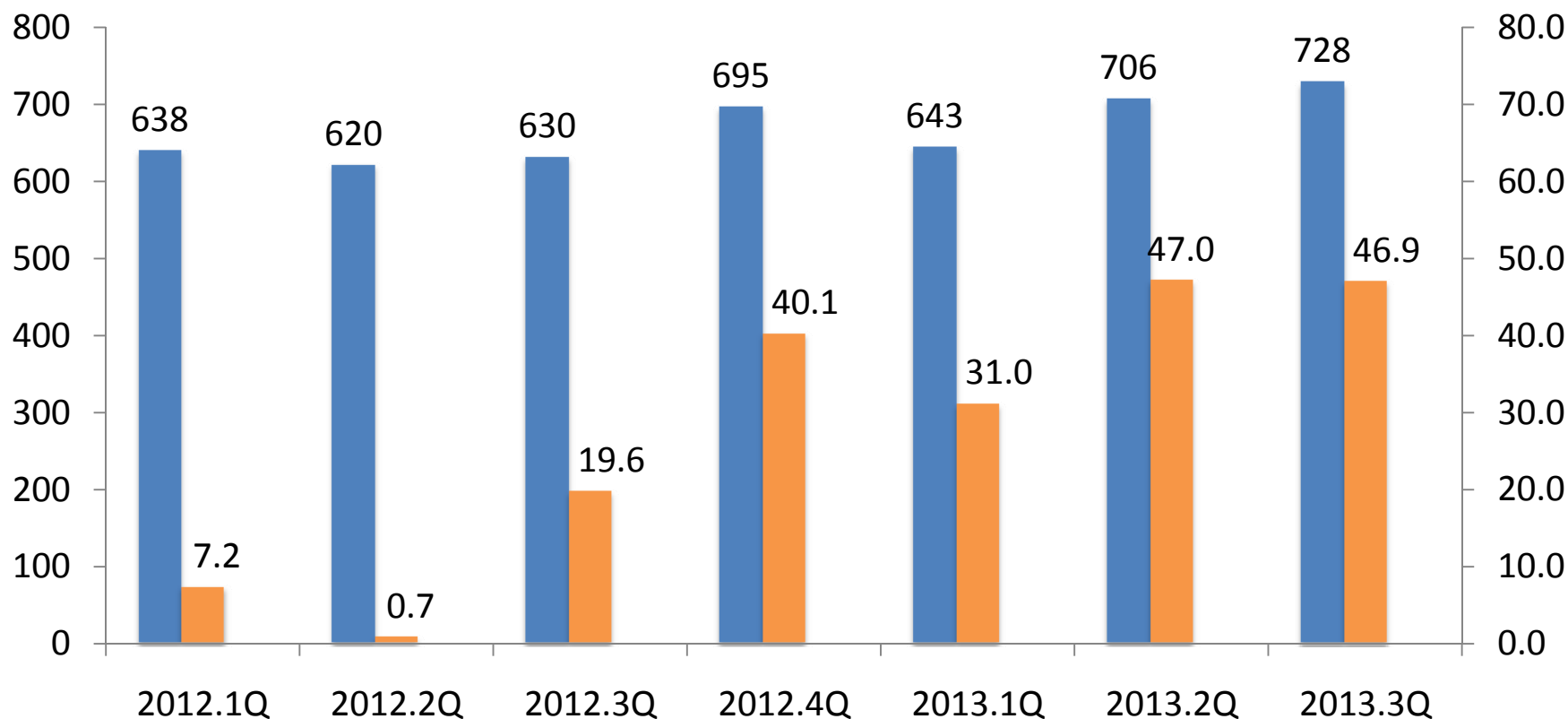


#### 4 補足資料

## 2. 業績推移 ( 四 半 期 )

連結

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)

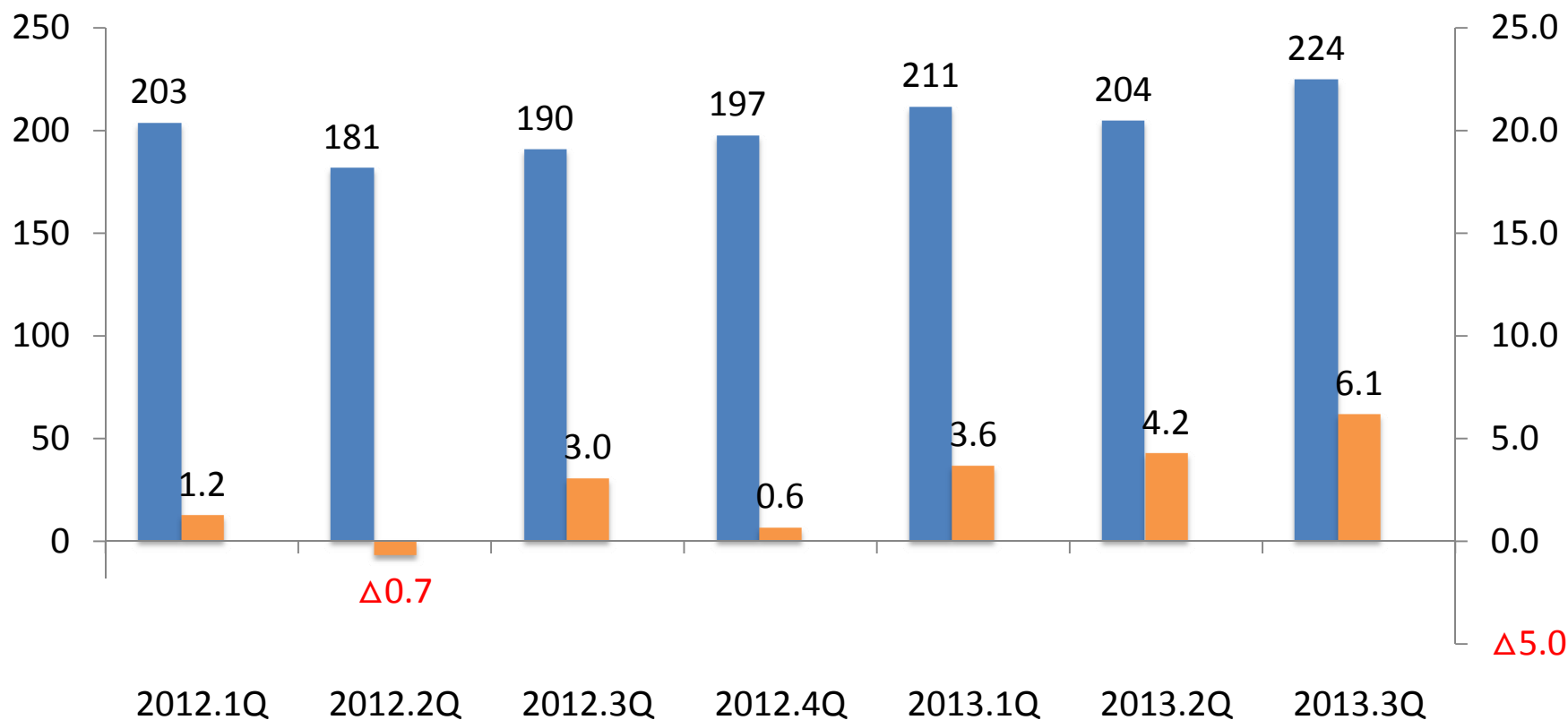


4 補足資料

## 2. 業績推移 ( 四 半 期 )

### 化成品

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



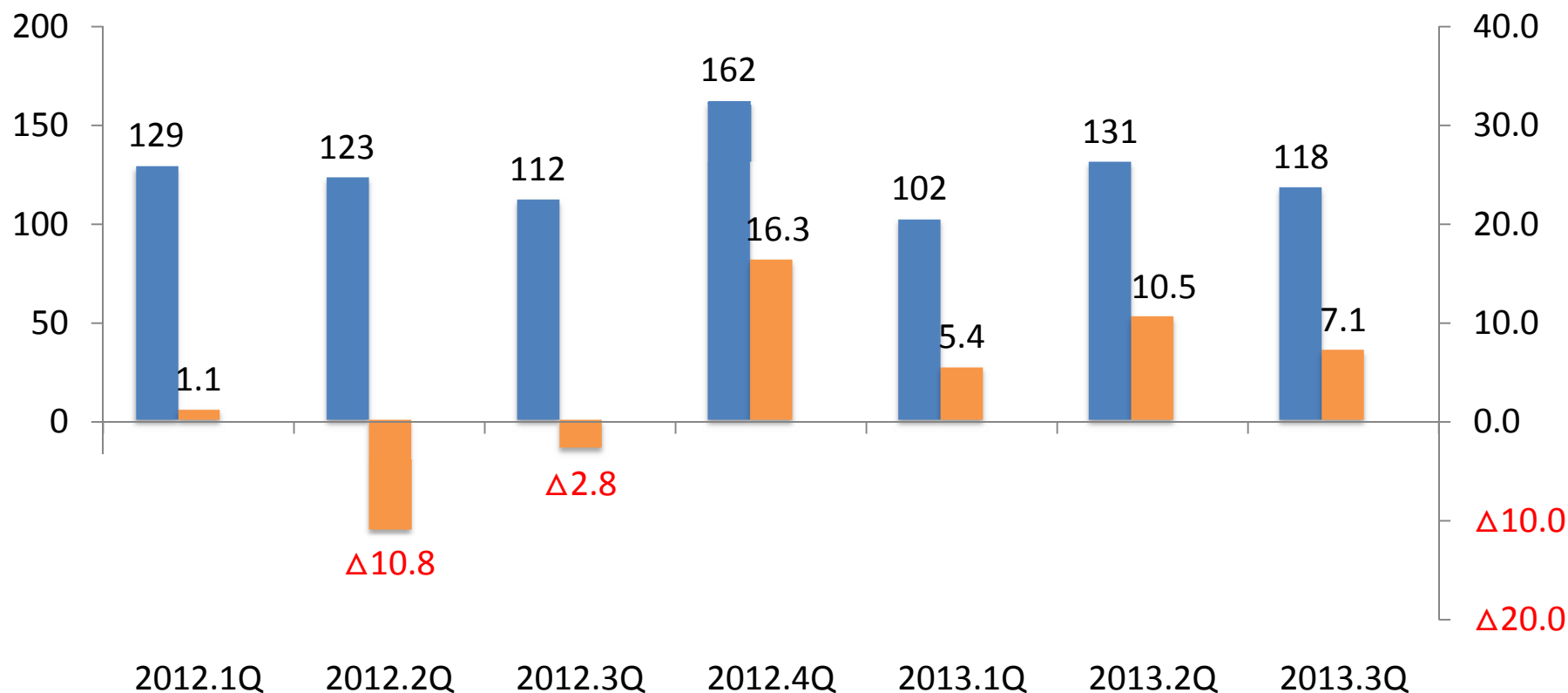
(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

4 補足資料

## 2. 業績推移 ( 四 半 期 )

### 特殊品

■ 売上高(左軸)      ■ 営業利益(右軸)      (億円)



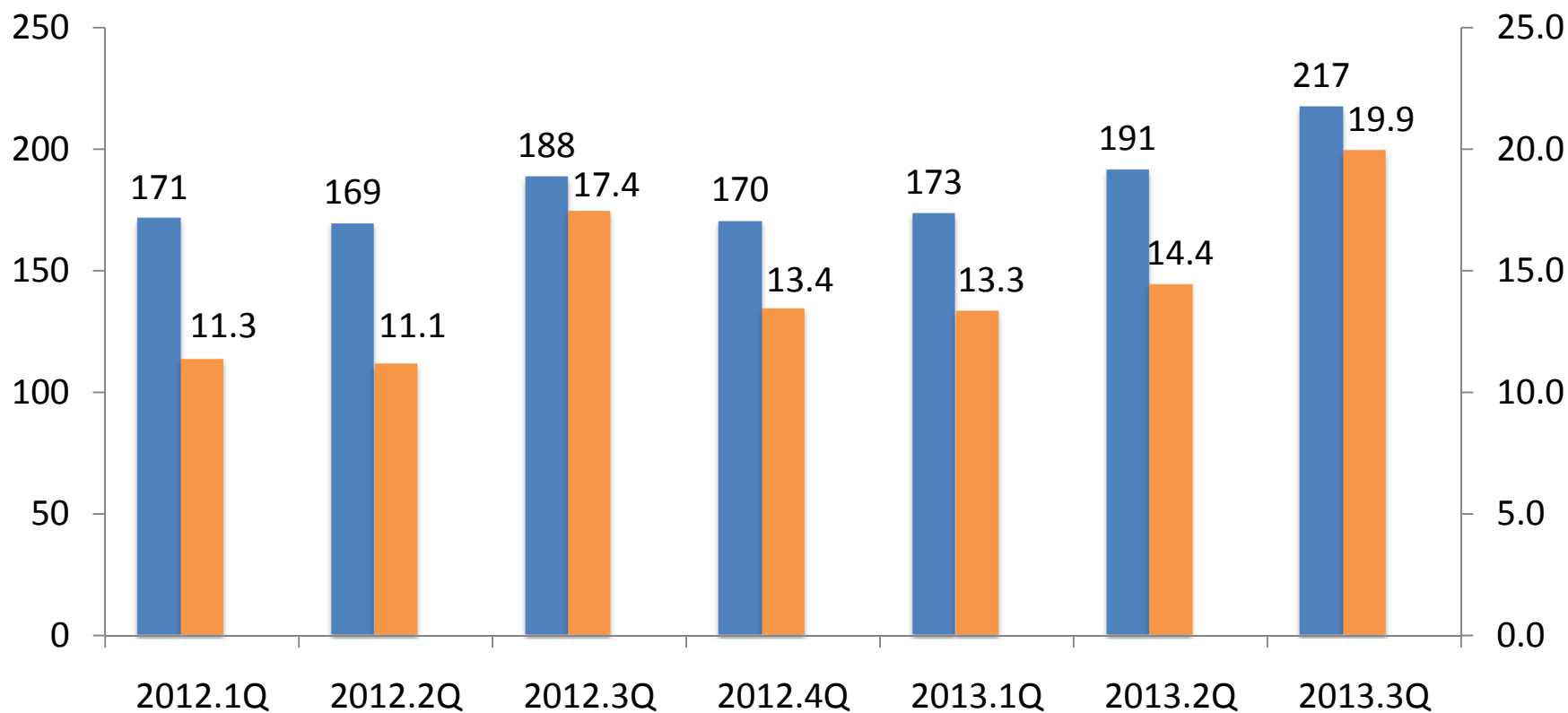
(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

#### 4 補足資料

## 2. 業績推移 ( 四 半 期 )

### セメント

■ 売上高(左軸)      ■ 営業利益(右軸)      (億円)



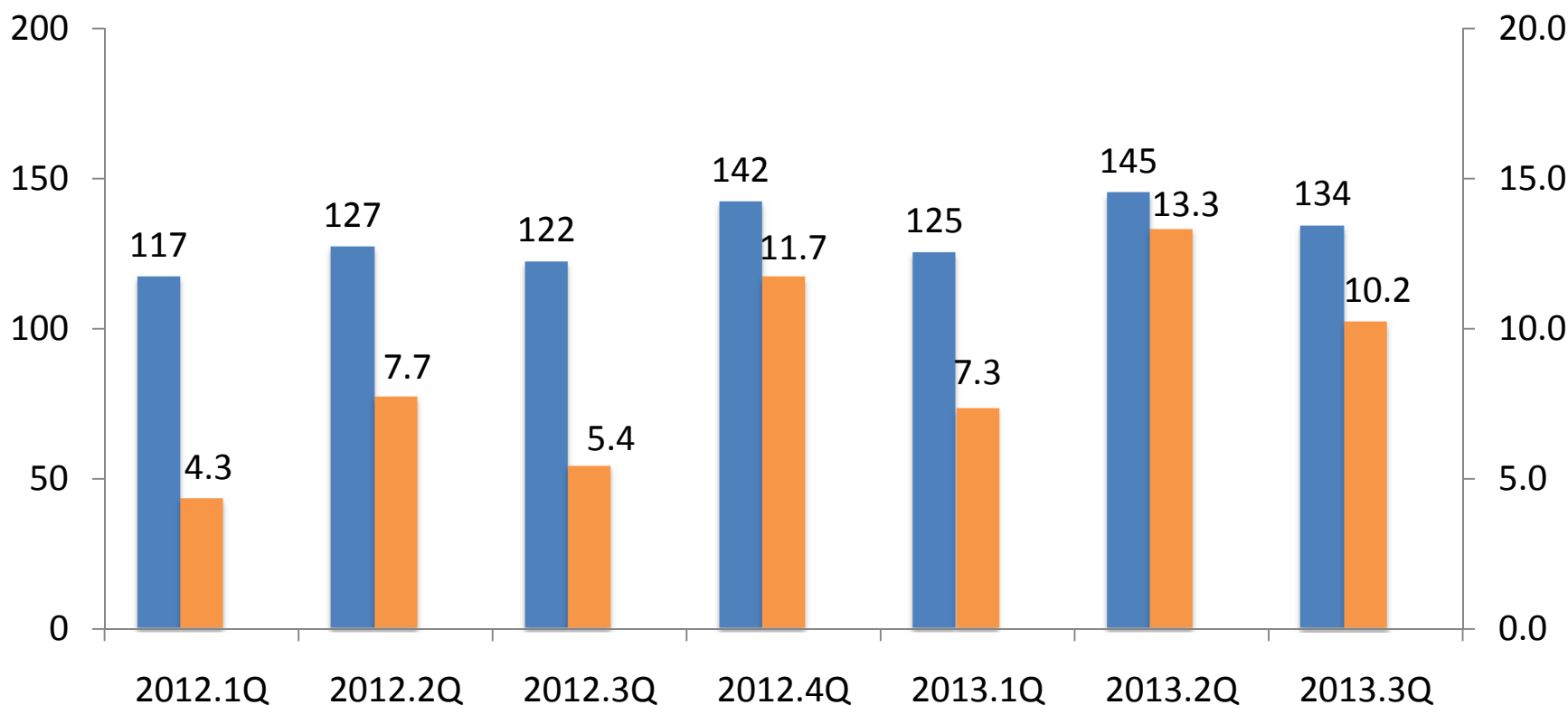
(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

4 補足資料

## 2. 業績推移 ( 四 半 期 )

### ライフアメニティー

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む



# 本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

Chemistry with a heart

**TOKUYAMA**

